

科目名 Course Name	生活支援技術Ⅲ Independent Living Skill III			ナンバリング No.	J1-009		
年次	1年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	和田晴美						
連絡先(質問等)	福祉棟 2F 研究室か、メールで対応。オフィスアワーは教員より説明する。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP1、DP2、DP3						
授業の概要と到達目標	<p>生活支援技術Ⅲでは、「こころとからだのしくみⅡ」で学んだことを基本に、生命と健康の維持のための、食事および排泄の意義と目的について学習し、自立に向けた支援を行うための基本技術を習得する。</p> <p>①食事と排泄の意義を、列挙できるようにする。 ②基本的な食事、排泄の支援方法と留意点を説明できるようにする。 ③演習での利用者役やおむつ体験を通し、利用者に合わせて支援方法を選択できるようにする。 ④臥床している人のプライバシーに配慮し、安全・安楽・的確なおむつ交換ができるようにする。</p>						
授業の方法	講義・演習を通して、食事・排泄の意義と目的、安全で的確な支援方法、利用者のアセスメント、利用者の状態・状況に応じた支援の留意点などを講義・演習・ディスカッションを通して学習する。学生は利用者役、介護者役を体験しながら実技を学んでいくが、単に手順を覚えることに集中するのではなく、利用者の立場から介護を受けとめ、より良い方法を考えていく機会としたい。						
学習成果	L01	演習を通して、自分自身の生活支援技術の不足部分を明確にし、技術向上のための練習に真摯に取り組むことができる。					
	L02	食事と排泄の意義と目的を明確にし、食事および排泄の支援に関する基礎知識を習得し、安全で的確な食事および排泄支援を、基本をふまえて実施することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	演習後の振り返り用紙は、グループディスカッションの際の資料とし、自らの意見を述べ他者の意見を聞くことで学びを深める。実技試験の結果は、評価者からのコメントを入れ、返却する。						
教科書/参考図書	①最新・介護福祉士養成講座 第7巻「生活支援技術Ⅱ」第8巻「生活支援技術Ⅲ」中央法規出版 ②生活支援技術マニュアル						
履修上の留意点やルール等	演習時は身だしなみを整えること。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業の準備(演習時の整容を含む)が整い、講義は集中し、疑問点は質問して解決できる。ディスカッションでは他者の意見を聴き、自ら積極的に発言して学びを深められること。	10			
レポート/作品	演習振り返り用紙で評価する。評価基準Sは、演習を振り返り、自身の学びを客観的に記述でき、介護に対する抱負が述べられること。		40		
発表	グループディスカッションの内容や結果を、簡潔にわかりやすく伝える。	10			
小テスト					
試験	実技試験(おむつ交換)を行う。実技試験の評価の視点は、生活支援技術マニュアルを参照。		20		
その他	「おむつ体験レポート」を課す。評価基準Sは、課題を十分に理解し、適切かつ正確な資料で分かりやすく工夫した内容構成であること。	20			
合計		40	60		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスにそって授業概要、授業の目標と学習の成果、評価方法の説明) 自立に向けた食事の介護 食事の意義と目的 介護者の役割
	事前・事後学習	食事に関する、前・中・後の観察項目を調べ、ノートに挙げてくる。
2	授業内容	食事に関する利用者のアセスメント 利用者の状態・状況に応じた食事支援の留意点
	事前・事後学習	演習に向けて、食事の支援をする際の留意点を調べ、ノートに記載する。
3	授業内容	安全で的確な食事の支援 <課題① 振り返り用紙>【演習①】
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル 課題①の記載をする。
4	授業内容	利用者の状態・状況に応じた食事の支援 視覚障害 咀嚼・嚥下機能障害 運動機能障害 <課題② 振り返り用紙>【演習②】
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル 課題②の記載をする。
5	授業内容	食事支援のまとめと補足 【グループディスカッション ①②の演習振り返り】
	事前・事後学習	グループディスカッションを通して確認した、食事の支援での留意点や学びを整理して記載する。
6	授業内容	自立に向けた排泄の介護 排泄の意義と目的、介護者の役割
	事前・事後学習	排泄に関する、観察項目を調べ、ノートに挙げてくる。
7	授業内容	排泄に関する利用者のアセスメント 安全で的確な排泄の支援 利用者の状態・状況に応じた排泄支援の留意点
	事前・事後学習	演習に向けて、排泄の支援をする際の留意点を調べ、ノートに記載する。
8	授業内容	利用者の状態・状況に応じた排泄の支援① おむつ交換 【演習③】 <課題③ 振り返り用紙 提出は第 9 回> <課題④ おむつ体験レポート 提出は第 12 回>
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル 課題③の記載をする。おむつ体験レポートの作成。
9	授業内容	利用者の状態・状況に応じた排泄の支援② おむつ交換 【演習④】
	事前・事後学習	おむつ体験レポートの作成。
10	授業内容	利用者の状態・状況に応じた排泄の支援③ ベッド上排泄 【演習⑤】 <課題⑤ 振り返り用紙 提出は第 11 回>
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル 課題⑤の記載をする。
11	授業内容	利用者の状態・状況に応じた排泄の支援④ ポータブルトイレ 【演習⑥】
	事前・事後学習	ポータブルトイレの介助について、学んだことをノートに記載する。
12	授業内容	排泄の演習、おむつ体験振り返り 【グループディスカッション】
	事前・事後学習	グループディスカッションを通して確認した、排泄の支援での留意点や学びを整理して記載する。
13	授業内容	利用者の状態・状況に応じた排泄の支援⑤ 自由練習 【演習⑦】
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルの練習用チェックリストを確認しながら、3 回以上実技を行う。
14	授業内容	実技の確認(おむつ交換)、自己評価
	事前・事後学習	実技試験を終えて、自己評価表を記載する。
15	授業内容	授業のまとめ グループディスカッションの発表 排泄支援のまとめと補足
	事前・事後学習	実習までにおむつ交換が的確にできるよう、チェックリストを確認しながら自己練習を繰り返す。